

事業評価書

補助事業名	防災に関する事業:はしご付消防自動車維持(基金)								
補助事業者名	木更津市長								
実施場所	木更津市消防本部								
補助事業の成果の目標	<p>現在、木更津市における高層建物の災害時において、市民を救助し安全を確保するには、はしご付消防自動車は欠かせないものとなっている。</p> <p>当市のはしご付消防自動車は購入後、既に20年以上経過していることから、車体、エンジンに著しい性能低下や劣化により、修理や部品交換も年々多くなっており、現有車両をそのまま配備し続ければ、即座に万全な対応ができない状況になる恐れがある。</p> <p>そこで、当市で保有するはしご付消防自動車について、修理、点検、更新を基金化することにより、常に万全な状態で災害に対応できる消防体制とし、市民が安心して暮らせる環境の確保を図る。</p> <p>【参考指標】 災害時にはしご付消防自動車が必要な高層建物数：167棟（H28. 4. 1現在） 災害時にはしご付消防自動車が必要な高層建物数：166棟（H29. 4. 1現在）</p>								
補助事業の内容	はしご付消防自動車の修理、点検、更新								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成26年度から平成29年度 基金の処分:平成27年度から平成35年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金処分額(B)	基金残額(A)-(B)	継続事業に要した額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	26	50,742,000				50,742,000	0	50,742,000	0
	27	63,393,000				63,393,000	299,160	113,835,840	299,160
	28	65,402,000				65,402,000	6,187,430	173,050,410	6,187,430
29	73,675,000				97,444	73,772,444	1,314,360	1,314,360	
30					98,580	98,580	222,480,000	23,127,074	222,480,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 購入後、20年以上経過し、劣化が激しかったはしご付消防自動車を、最新の車両に更新することができた。</p> <p>消防隊員が記録している活動報告書や日々の整備日誌に基づき、消防隊員に聞き取り調査を実施したところ、「最新の車両に更新したことにより安全性が確保され、万全な活動が行える。」等の意見があったことから、市民が安心して暮らせる環境が確保されたと考える。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] ホームページ上で特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用している旨を記載した。また、更新したはしご付消防自動車の車体後部に「平成30年度特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」と文字を記載した。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	平成31年度は、15メートルはしご付消防ポンプ自動車のオーバーホール(大規模修理)を予定している。								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	—								